



第2次能代市総合計画 (後期基本計画)

まちづくり提案書

令和6年11月

能代市総合計画市民協働会議

目 次

I	提案を行うためにまちづくり評価書から絞り込んだ政策・・・・・・・・・・	1
II	提案	
1	元気で魅力あるまち	
	(2) みんなが参加し活躍する地域づくり・・・・・・・・・・	4
	(4) 気軽に親しみ楽しめるスポーツ・・・・・・・・・・	5
2	笑顔で人が輝くまち	
	(1) 地域や社会で支える子ども・子育て・・・・・・・・・・	6
	(2) 次代を担う子どもを育てる学校教育・・・・・・・・・・	7
	(3) 地域や社会に活かす生涯学習・文化・・・・・・・・・・	8
3	豊かで活力あるまち	
	(3) 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光・・・・・・・・・・	9
4	安心で暮らしやすいまち	
	(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク・・・・・・・・・・	10
	(5) 調和のとれた有効な土地利活用・・・・・・・・・・	11

I 提案を行うためにまちづくり評価書から絞り込んだ政策

■ 基本目標1 元気で魅力あるまち

政策（2）みんなが参加し活躍する地域づくり

【選択した理由】

ボランティア・自治会・町内会の減少は人口減少が進む中である程度やむを得ないものがあるが、それは、地域コミュニティや市民生活の低下につながる。さらには資力の低下にもつながるので、今後活動を細らせない必要があり、若者や女性が参加しやすい在り方を目指す。

政策（4）気軽に親しみ楽しめるスポーツ

【選択した理由】

健康意識の高まりと併せ、簡単な運動・スポーツから気軽に取り組んでもらえるよう呼びかけ、実態把握のため、学校開放事業による学校施設のスポーツ利用者数も含めるべきではないかと考える。

■ 基本目標2 笑顔で人が輝くまち

政策（1）地域や社会で支える子ども・子育て

【選択した理由】

政策は充実しているが、経済面等の理由により市民が利用しきれっていないのではないかと。

利用率が上がれば親の負担も減り、子どもが良好な環境で学び、個性や能力が育つと考えられる。効果的な情報発信と企業と連携した子育ての環境整備が必要と考える。

政策（2）次代を担う子どもを育てる学校教育

【選択した理由】

地域の催しや祭りの機会は多くなっているが、行事へ参加する親の負担は大きい。地域行事へ参加しやすくなるため、地域の良さを学ぶ取り組みが必要ではないかと。

政策（３）地域や社会に活かす生涯学習・文化

【選択した理由】

基準の目標値から考えると各目標の指標推移に上昇傾向が見られないため、生涯学習・文化・民俗芸能に関する人と学校をつないでいくような仕組みを作ればよいのではと考える。また、人口減少や高齢化が進んでいるので、地元の子どもたちに興味を持ってもらうための方法を考えるべきである。

■ 基本目標３ 豊かで活力あるまち

政策（３）豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

【選択した理由】

ビジネス客は、増加しているが、宿泊施設が不足している状況にあり、コロナが収束しても観光客数が回復していないため、観光客をターゲットにした宿泊施設の誘致や、観光資源の活用、発信、PRが重要と考える。

■ 基本目標４ 安心して暮らしやすいまち

政策（２）機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

【選択した理由】

巡回バスの利用者数は、路線バスの廃止、高齢化により利用者は伸びたものの、人口減少により、今後利用者の増加が見込めない。東能代駅から能代駅へのスイッチバック等、機能的な交通体制を確保するための支援や、停留所以外での乗客の乗降など、きめ細かな対応が必要である。また、地吹雪による視界不良箇所が多く、防雪柵設置増の対応が重要と考える。

政策（５）調和のとれた有効な土地利活用

【選択した理由】

全ての目標値を達成しておらず、「不調」と言わざるを得ないが、どの世代でも様々な取り組みを進めているので、今後能代市をどのようなまちにすべきか市民でイメージを構築し直し、それによって政策を実行していく必要があると考える。

II 提案

基本目標 1 元気で魅力あるまち

政策 (2) みんなが参加し活躍する地域づくり

提案項目 誰もが参加し活躍できる地域づくり	
提案に至った現状と評価	提案の内容
・高齢化を背景に市民活動、ボランティア及び地域活動をする人達が減っている。 ・ボランティアや自治会・町内会への参加人数だけではなく、活動の活性化を上げることが市の活性化につながる。 ・事業者や働き世代、若者、女性等に動いてもらうよう働きかけることが大事であると考え。若者や女性が参加しやすい在り方が求められる。 ・ボランティア・自治会・町内会の減少は、人口減少が進む中である程度やむを得ないものがあるが、それは地域コミュニティや市民生活の低下につながることであり、災害対策としても今後活動を細らせない必要がある。	・市は、若者世代をはじめとする様々な立場の市民が、能代市をどんなまちにしていきたいのか語り合う場やきっかけを設ける。 ・能代市市民活動支援センターの機能を強化するとともに、センターがハブの役割を担い、行政、自治会・町内会、市民活動・地域活動・ボランティア等のまちづくり団体や個人、事業者、働き世代、若者（学生）、女性等、様々な主体をつないで、地域を良くしていくためのアクションを支援する。 市やまちづくり団体等は、能代市市民活動支援センターと協働して地域づくりを推進する。 ・市と能代市市民活動支援センターは、市民の活動がさらに可視化されるような仕組み作りを行う。（例：ボランティアの活動を動画で紹介したり、その動画は学生に作成してもらったりなどする）
(・・・ので、)	(・・・が、・・・することを提案する。)
提案に関連する 主な分野別計画	能代市男女共同参画計画

基本目標 1 元気で魅力あるまち

政策（４） 気軽に親しみ楽しめるスポーツ

提案項目	スポーツ参画人口の拡大
提案に至った現状と評価	提案の内容
健康意識の高まりはあるものの、人口減少とコロナ禍の影響もありスポーツ施設利用者数は減少した。 また、スポーツ施設や団体（グループ）の活動などが市民に知られていない。スポーツの定義が人それぞれであり定まっていない状況であると捉えている。 こうした状況を踏まえ、学校開放事業による学校施設のスポーツ利用者数も含め、運動・スポーツに親しんでいる人の実態把握に努めるとともに、簡単な運動・スポーツから気軽に取り組んでももらえるよう呼びかけを行う必要がある。 （・・・ので、）	市民がスポーツ（運動）に親しもうとしても、実際にスポーツができる施設や日々活動している団体（グループ）が十分知られていないため、市民のスポーツ施設利用者数の向上に向けたきっかけづくりを強化する。 （具体案） ○ 市民に一層の関心をもってもらうため、市とスポーツ団体は、スポーツが可能な施設と利用申込みの方法・制度や各団体の活動状況や入会の案内について、広報のしろなどの媒体を活用し、周知を図る。 ○ 市は、学校開放事業があることや、スポーツが健康増進のきっかけとなることなど周知に努める。 ○ 事業者等は、従業員等へウォーキングやラジオ体操などを含めて、積極的にスポーツに取り組むよう働きかける。 （・・・が、・・・することを提案する。）
提案に関連する主な分野別計画	能代市スポーツ推進計画

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち

政策 (1) 地域や社会で支える子ども・子育て

提案項目	地域で安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられるまち
提案に至った現状と評価	提案の内容
子どもを産む世代が少なく、出生率が低下している。 子育て世帯は、共働きも多く、経済面だけでなく、精神面・身体面の負担が大きいことから、地域全体で子育てを支援する必要がある。 特に、事業者の取組が重要ではないか。	子育てしやすい環境整備を行い、子育てしやすいまちをPRすることで、若い世代の能代市への定着を図る。 (具体案) ○ 行政が、給食費や保育所・幼稚園、高校の無償化など子育て世帯への経済的支援を行うことで負担軽減を図る。 ○ 事業者は、有給休暇や育児休業の取得を推奨したり、託児室を設置するなどして子育て支援環境を整える。行政は、そうした企業の取組に対する支援を行う。 ○ 病院は、病院内に託児室を設け、保護者や病気の子どもが診察中に、病気でない子どもを預かるなどして、子育て家庭を支援する。 ○ 地域住民は、急に子どもが病気になったり、保護者に用事ができた際などに子どもを預かるなど、ボランティアとして子育て家庭の支援に取り組む。 ○ 行政は、子育て家庭に様々な支援制度等を更に活用してもらうため、保育所や学校等と連携し、効果的な周知に努めるとともに、子育てしやすいまちをPRする。
(・・・ので、)	(・・・が、・・・することを提案する。)
提案に関連する 主な分野別計画	能代市子ども・子育て支援事業計画 能代市子どもの未来応援計画

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち

政策 (2) 次代を担う子どもを育てる学校教育

提案項目	地域を愛する子どもたちの育成
提案に至った現状と評価	提案の内容
少子化や人口減少に伴い、地域の結びつきが希薄化している中、子どもの数が少なく、行事の継続が難しいものがある。行事へ参加する親の負担が大きいなどの課題もある。 また、子どもの学力について、質の高い教育環境を整える取組として、特徴的な教育を行うことも考えられる。 (・・・ので、)	地元への愛着心を育み、地域を担う子どもを育成していくため、子どもたちの声を聴きながら、学校を核として地域行事等への参加を促していく必要がある。 また、家庭の事情に左右されることなく、すべての子どもの基礎学力の向上を図るとともに、英語教育など特色ある教育を実施し、充実した教育環境の整備を進める。 (具体案) ○ 市民、各種団体、事業者、行政は、それぞれがSNS等を活用し、直接子どもの意見や提案を聴きながら取組を進める。 ○ 学校が、地域と連携し、地域行事への参加や、地域ボランティアを活用した授業を行うなどの取組を進めるほか、学校報等を活用して、学校の取組や地域の魅力を発信し、理解を深めてもらう。 ○ 行政は、退職した教職員や高校生が、子どもたちの学習支援を行う仕組みを構築する。(長期休業中などの余暇時間の利用、ボランティア活動の仕組みなど) ○ 行政は、先進事例を参考に、英語教育に特化した教育を取り入れ、国際的に活躍できる人材の育成に取り組む。(移住者の増加も視野に入れる) (・・・が、・・・することを提案する。)
提案に関連する主な分野別計画	能代市子ども・子育て支援事業計画 能代市子どもの未来応援計画

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち

政策 (3) 地域や社会に活かす生涯学習・文化

提案項目	生涯学習・文化の周知
提案に至った現状と評価	提案の内容
生涯学習・文化・民俗芸能に関わる人と学校をつなぐ仕組みを更に作り、地元の子供たちに興味をもってもらうことが必要である。 (・・・ので、)	子供たちに地域の祭りや文化、民俗芸能に興味を持ってもらうため、市、学校や自主学習グループ等が連携して取組みを強化する。 (具体案) ○ 市は、能代の祭りや民俗芸能をアーカイブ化し、市民が集う場所（イベントや公共施設など）で放映することで、市民への周知を図る。 ○ 市は、広報のしろなどの媒体を活用し、自主学習グループの紹介を行うことで、地域の歴史や文化の理解浸透に努める。 ○ 学校は、授業時間の合間等を利用し、アーカイブの映像を放映することで子供の関心を引き起こし、将来的な地域活動につなげる学習機会の創設に努める。 ○ 各団体は、民俗芸能に興味・関心を持ってもらうため、地域や学校との関わりを継続する。 (・・・が、・・・することを提案する。)
提案に関連する 主な分野別計画	能代市社会教育振興中期計画

基本目標 3 豊かで活力あるまち

政策 (3) 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

提案項目	観光の振興と宿泊施設の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
能代特有の地元食材を活かした料理のPR、観光資源の活用が不十分な状態にある。また宿泊施設自体が不足している状態にあり、観光するうえで支障が生じている。加えて、他の地域で宿泊する等経済的損失も発生している状態にあると思われる。 (・・・ので、)	地元食材・郷土料理の発信、認知度向上を図る必要がある。 また、市有地の提供、事業費補助のほか、宿泊施設関連業者の誘致に取り組む必要がある。 (具体案) ○ 市と事業者が主体となり、食（地元食材・郷土料理に関する）のPRにつながるイベントを開催する。 ○ 既存の観光資源が十分に活用されていないことから、各種団体、事業者、市が関係機関と連携し、情報交換の場を作る。 ○ 市が、既存の宿泊施設の増改築に対する援助を実施する。 (・・・が、・・・することを提案する。)
提案に関連する 主な分野別計画	能代市観光振興基本指針

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち

政策 (2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

提案項目	安全で機能的な交通体制の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
巡回バスの利用者は増えているが、今後人口減少により利用者の減少も考えられる。路線バスは利用者が減り路線の廃止に歯止めがかからないことが予想される。 また、地吹雪による視界不良箇所が多く、運転に支障がある。 (・・・ので、)	機能的な交通体制の確保、利便性の向上が必要である。 (具体案) ○ 行政が、バスを必要とする人から目的を聞き、運行ルートや時刻表を作成する。 ○ JRと行政が、東能代駅から能代駅へのスイッチバック実現のため支援を行い、機能的な交通体制を確立する。 ○ 行政が、地吹雪(危険)箇所の確認を行い、防雪柵の増設・改良を行う。また、誘導灯の設置箇所を増やす。 (・・・が、・・・することを提案する。)
提案に関連する 主な分野別計画	能代市地域公共交通網形成計画 能代市道路除雪計画

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち

政策（５） 調和のとれた有効な土地利活用

提案項目	能代の街のビジョンの見直し
提案に至った現状と評価	提案の内容
・ 中心市街地には住んでいる人が少なかったり、人が集まらなかったりする。 ・ 空き家対策・取り組みの動きは見えるが、郊外化により中心市街地は衰退の傾向にあり、遊びなどといった目的を持って訪れる人が減少している。 ・ この政策の指標で、全ての目標値を達成しておらず、「不調」と言わざるを得ないが、商業者やまちづくり団体等が様々な取り組みを進めており、明るい兆しも見えてきている。今後能代市をどのような街にするべきか市民でイメージを見直し、それによって政策を実行させていく必要があると考える。 （・・・ので、）	・ 中心市街地をはじめ、市の様々な地域のまちづくりに関わる人達や団体、行政・事業所などが、能代市をどのようなまちにしたいのか語り合う場を設け、中心市街地の定義も含め市のまちづくりの方向性を見直しする機会を作る。 ・ 市は、まちづくりの最終ビジョンを明確化し、市民全体で目指すゴールを共有して、市民やまちづくり団体が主体的にまちづくりを進める。 （・・・が、・・・することを提案する。）
提案に関連する 主な分野別計画	能代市中心市街地活性化計画 能代市都市計画マスタープラン 能代市立地適正化計画